

第23号

発行日 平成10年5月20日

発行所

東京青山同窓会事務局

〒151-0072

渋谷区幡ヶ谷1-7-4

深津ビル4F

TEL 03-3378-6616

発行者 坂井 俊一

東京会報

東京青山同窓会

東京青山同窓会年間維持費

1口/1,000円2口以上(年間)

会計幹事 山根 伸之(64回)

振込先

さくら銀行 神田支店

普3485843 東京青山同窓会

郵便振込口座 00150-9-4074

平成9年度 東京青山同窓会総会

平成9年11月14日(金)

於: 大手町サンケイホール

毎年恒例の東京青山同窓総会は、11月14日、これまたほぼ恒例となっている大手町のサンケイホールにて、母校新潟高校からは佐藤義雄校長を、そして青山「窓会本部からは上村光司会長・石田瑞穂幹事長のお二人を来賓として迎え、約150名の会員の出席の下開催された。

特に、今回事務局が用意したアトラクション「じゃんけん大会」は、82回卒業の西山活子さんの音頭よろしく、非常な盛り上がりを見せ大成功であった。最後まで勝ち残ったのは46回卒業の富所強哉先輩。参加者各人から100円ずつ集められた賞金15000円余りは、先輩が辞退したため全額同窓会に寄附されることになった。また、歓談の時間では、毎年常連となっている面々は互いに元気な顔を確認し、そして、久々の出席者は懐かし

い思い出話に花咲かせ、あっという間に予定の時間が過ぎてしまった。散会後も、大半の出席者は別れを惜しみ、ともに誘い合って都内某所へ向かった。

ところで、今回の総会では「じゃんけん大会」のほか、東京青山同窓会を一層盛り上げるべく新たな試みもなされた。一つは、出席者増を図るための「前売券方式の導入」であり、今ひとつは、会員間の新たな人間関係のきっかけを作るための「出身地別のテーブル分け」である。「前売券方式の導入」は、事務局にとって少々負担となるものではあったが、出席者が例年の2割増という結果に繋がりと、また、「出身地別のテーブル分け」は、中学校の意外な先輩・後輩を知ることとなり、会前半の「卒業回数別のテーブル分け」と併せて、会員間の人間関係が

「2次元」へと広がる一助となったものと思われる。似た発想としては、大学の学科等専門分野別のテーブル分けや名字の五十音別のテーブル分けなど、まだまだほかのアイデアもありそうだ。

今回総会に出席された皆さんは、次回もまた、そして残念ながら欠席された皆さんは、次回こそは都合を合わせて、是非ともご出席を。また、学生会員の皆さんは、卒業後は難しくとも、せめて大学時代の4年間だけでもこの総会に出席し、一緒に会を盛り上げるようお願いします。

最後に拙作を一つ。高校時代を懐かしみ、詠んだ折り句「青山同窓会」。

青い海 山の白雪 同じ絵に
窓を隔てて 会うこと三度

星野紹英 84回



平成8年度決算報告及び9年度予算

収入の部 (千円)

費 目	8年度決算 H8/10/1-H9/9/30	9年度予算 H9/10/1-H10/9/30	備 考
前年度繰越金	702	860	
年 会 費	2,444	3,000	1,500名×2,000
総 会 々 費	680	1,140	130名×8,000 20名×5,000
講 演 会 費	339	350	70名×5,000
新人歓迎会費	576	590	OB 70名×7,000 新人 50名×2,000
広 告 料	264	300	10件×30,000
本部補助金	300	300	
協 賛 金	30	60	カード70名×1,500
寄 付 金	5		
合 計	5,340	6,600	

支出の部 (千円)

費 目	8年度決算 H8/10/1-H9/9/30	9年度予算 H9/10/1-H10/9/30	備 考
総 会 費	1,131	1,200	
講 演 会 費	315	350	
新人歓迎会費	599	600	
事務局費	413	500	
会 議 費	237	350	
通 信 費	455	900	
印 刷 費	1,264	1,400	会報2回発行
振替手数料	66	100	郵便局扱い
次年度繰越金	860	1,200	
合 計	5,340	6,600	

「回数」から「人数」を
めざして

年間スケジュールの一部変更について

幹事長：坂井 俊一 (64回)

東京青山同窓会では、毎年11月に総会、6月に新人歓迎会が定例となっておりますが、この他に4月頃、同窓生を講師に招いて講演会を開催することになっており、ここ数年来、講師の顔ぶれも多彩で大変好評でありました。

しかし年に3回のビッグイベントとなると、これを企画、推進する幹事諸兄姉、特に事務局担当幹事の労力たるや想像を絶するものがあり、更に年2回の会報発行を含め、これらを全て愛校精神という美名のもとにボランティアの好意のみに頼っている現状では自ずから限界もあるわけです。そこで、今年は、講演会と新人歓迎会をドッキングさせて1回とし、11月の総会とあわせて年2回のビッグイベントとするということで、我が同窓会も若干の省力化をはかることになりました。

同窓会の目的は、集まる回数も多いに越したことはありませんが、「回数」よりも密度の濃い内容で、「人数」をより多く集める会にしたいと念願しております。

そのため、今年の講演会兼新人歓迎会は、会場もガラリと趣向を変えて、同窓生の経営する「一龍屋台村」で開催いたします。マスコミで話題になった店で、話のタネにもなると思いますので、多数のご出席をお待ちしております。講師は、政府行革委員の佐藤幸治京大教授 (64回) で、橋本内閣の不人気のあおりで、行革そのものの影が薄くなりつつある昨今、決して忘れてはならない最重要課題であることは間違いありません。

東京青山同窓会は、今や5000名を越える老若男女を擁する大世帯となりました。会の性格上、全ての会員のニーズをまとめることは不可能ですが、母校および同窓会本部との連携を密にしながら、青山健児として誇りある同窓会にしたいものです。

64回
「還暦祝いの同期会」
大盛況

幹事・川崎 明



2月20日、新宿の高層ビル街にある新宿三井ビル、その54階にある新宿三井クラブで第64回生 (昭和31年卒業) の同期会を開催しました。在京の同期生名

簿には約150名が登録されていますが、うち59名の出席という大盛況でした。

ことのきっかけは、昨年11月に開催された東京青山同窓会総会。久しぶりで10名の同期生が顔を合わせました。「還暦祝いの同期会をやろうや」と、その場で衆議一決。出席者全員が世話人になり (後に2名のご婦人を追加)、12月から準備を始めました。

5年前に同じ三井クラブで同期会を開催しましたが、その時の出席は42名。今回は50名を目標にしようと、ちょうど良い広さの部屋を予約。1ヶ月前に往復はがきで案内を出しましたが予想以上の反応で、たちまち出席の回答が60名を突破、結局59名の出席でしたが、中には卒業以来の顔合わせという人達もかなりいて、胸の名札と顔を確かめながら「イヤー、懐かしねかてー」の連発でした。

我が64回生はこの間にも、平成8年に新潟のメンバーが中心となり、卒業40周年記念同期会をイタリア軒で開催。この時にも東京から20名近くが駆けつけ、40名の出席で盛会でした。

今回は「還暦」という人生のエポックに当たったこともあって、このような大盛況になったと思われますが、第2の人生では、人のネットワークが大きな意味を持つようになるといわれています。「青山」をキーワードにして、趣味でもビジネスでも、様々なネットワークが出来ることは決して無意味ではないと思います。今回は新潟から、若槻晃一君、小田島寿一君、中井 (白勢) ふさ子女史の3名が参加してくれました。早川周作君ははるばる函館から駆けつけてくれました。那須 (中村輝久君)、前橋 (石井芳雄君)、つくば (伊藤光彦君、堺俊晴君)、浜松 (椎名陸郎君) のみなさん遠路ありがとうございます。

ところで、7学級約350名の同期のうち、昨年末に1名 (海老洋君)、今年2月に1名 (秋山喜徳君)、が逝かれ、合計31名の方々が亡くなりました。死亡率は約8%、生命保険会社の経験死亡率とほぼ同率のようです。この会報を借りてお悔やみ申し上げます。

最後に、今回の出席者からのアンケートの結果、次回開催を1年後とする意見と、3年後とする意見が拮抗。そこで、後日開催した世話人反省会では「2年後」に決めました。ぜひ多勢の出席を!

60回 (MUZO会) の つどい

高城 英雄(60回)

恒例の新年顔合わせ会として1月19日(月)に38名が東京・新橋の新橋亭に集まり、新潟の泉精司君、市川豊君、佐々木城君等から寄贈された越後の銘酒久保田、雪中梅、越の寒梅等で新年の挨拶を交わし、お互いの健康を喜び合った。開宴後埼玉ロイヤルケアセンターの所長をしている同期の広瀬欽次郎ドクターから「熟年の泌尿器疾患」と題しての講演が約30分、面白おかし語られ、然し共通の問題に一同真剣に耳を傾けた。終わって横浜国大在学中グリークラブに所属していた同期矢川和偉君が率いるカルテッド〔ゆーかり〕の面々によるコーラスを楽しんだ。又、3月23日(月)新潟の横越町にある法幢寺の和尚、山崎賢隆君(同期)の祈祷とお払いで「新年を迎えて向こう5年間の無事息災祈願」をした。集まったのは新潟より20名、東京より7名で、終了後有名な酒飲み地蔵を特別拝観した。2次回は村杉温泉の長生館で祈願に参加出来なかった面々数人が参加し、囲碁や話のそれぞれの輪が広がり

楽しく一時を過ごした。温泉は露天風呂が新設されて内風呂と共にゆっくり出来、湯の中で4年後の卒業50周年記念の会合を盛大にやろうと語り合った。翌日は12名が運良く晴れた天気の下でゴルフを楽しんだ。

原稿募集中

編集部では、各回の楽しい同期会の報告を募集しております。写真と共に事務局まで原稿をお寄せ下さい。



81回同期会報告

幹事：荒川秀樹

2月14日、81会の同期会を都内で開催した。東京での開催は2年ぶり2回目である。今年が卒業25年目に当たることから、名簿整理を兼ねて160名に通知した。結果は、年齢的に多忙極まる

年代であること、また当日がバレンタインデーという特異日であったため、出席21名(内女性3名)とやや少ない集まりであった。しかし卒業以来の顔もあって、年輪に刻まれた若き日と今とを重ね合わせて、「変わった」「変わらない」を連発し、また、欠席者の近況報告のはがきを肴にし、美酒に酔い

しれた。

ちなみに2次会も20名参加。特別ゲスト(東京青山同窓会10年幹事・前田豊君：88回)の強力なサポートもあって、居合わせた某大合唱部に対抗して丈夫の大合唱を披露。夜11時過ぎまで池袋の町は大なる盛り上がりを見せた。最後に、幹事より6月に卒業25周年の集いを新潟で開催する旨アナウンスがあり、故郷でのより多くの旧友との再会を期待しながらの散会となった。

尚、参加者は次の通り。

池政秀・大森泰・中山至・広島勉
市川正一・上村隆・堀川良史・鰐淵博
荒川洋・豊島(江口)裕子・越野昌芳
白井秀樹・若松力・広井(荒井)恵子
小野島正彰・荒川秀樹・久保田博昭
清水(桜井)ひとみ・佐藤常芳・鈴木崇
丸山琢巳 (以上卒業時クラス順)



寄稿

私を変えた
「一冊の本」

佐藤 武行(65回)

平成8年、58歳でサラリーマンをやめ、現在世田谷で植木屋「輝き庭園」を営んでおります。

私は昭和12年に東京で生まれ、軍人の父は私の2歳の時に戦死し、19年親子3人は東京空襲を避けて長野に学童疎開しました。戦後両親の出身地新潟に引越し母の実家に身を寄せましたが、戦後の混乱で母の兄弟とそれぞれの家族が同居し自分達の家族の家が欲しくて父親が生きていてくれたらなああと子供心に淋しい思いをしました。母はつらいこともあったでしょうが気丈で教師をしながら兄と私ふたりの成長を夢みながら大学まで出してくれました。

小・中学生の頃は、東京からの疎開っ子としてイジメられたり、級長に祭り上げられたり、また友達と毎日、川遊び、草野球など野良遊びに興じていました。中学では野球選手として活躍(?)し高校時代は受験勉強一本槍の生活でした。

受験のため上京し、大学時代は良き友に恵まれ、アルバイトをしながら自由気楽な生活で将来政治家を夢みながら大言壮語し、お酒で随分失敗をしました。母からの仕送りも酒代に化けてしまうことがありました。

1年留年して希望の就職先へ再度挑戦しましたが失敗し結局無職のまま結婚し

妻の実家に居候をし、友人のお父上に頼み込んである中堅の広告代理店に途中入社しましたが、自分の目指す道と違うせいか仕事に馴染めず職場の人達とも長い間打ち溶けずにいました。何度会社を辞めたいと思ったかわかりません。決められた仕事は生真面目にやるのですが何か歯車が噛み合わず、対人関係もうまくゆかず、時には衝突もあるのです。自分は真面目にやっているのにどうして人とうまくゆかないのだろう、と悩むうちにだんだんとストレスが溜まりお酒で気持ちをまぎらわすことがたびたびあり、妻は人陰で涙を流し、どうしたらいいものかと占いに見てもらうことがよくありました。

子供3人を抱え、給料は人より安く、会社では部署を次々と回され、いろんなアルバイトを試みてもうまくゆかず、自分はどうしてこんなに運の悪い人間なんだろう、と嘆いたものでした。私の心は常に不満で一杯でした。そしてついに上司と衝突しショックのため無断欠勤してしまいました。

この最悪の時、私は縁あって一冊の本に出会いました。それは「生命の実相」(谷口雅春著)という光明思想誌でした。そこには「人間は神の子、仏の子である。すでに無限力を持っている。天地一切のものに感謝すべし。外界は自分の心の現われの世界、心が変われば相手が変わる、まわりの環境が変わる。宇宙の大生命に生かされている自分。永遠不滅の生命。父母に感謝せよ。……」等々。

今まで私は仕事がうまくゆかないのも、人間関係がギクシャクしたり衝突するのも、貧しいのも、運命が悪いのもみな人

のせいだ、社会が悪いからだ、と責任を他人に転嫁していました。自分のことしか考えない自己中心の人間だった、と反省し涙がとめどもなく流れてきました。

この本のお蔭で私の人生観は一変したのです。心は明るくなり、積極的となり、人の役に立つことを第一に考えるようになりました。そして問題にぶつかる、これは自分の心を高めてくれる資料、素材だと感謝して受け取りました。それ以後私の運命は一枚一枚薄皮が剥がれるように好転して行くのでした。

この頃住宅を新築し、教育費も必要になってきましたので日曜と祝日に趣味と実益を兼ね植木の剪定をやりようと思っていたところ、近くに植木やさんが入っていたので「アルバイトに使って下さい」と頼みましたが3ヶ月たっても何の連絡もありませんでした。その時です、私の心の底から大きな太い声が聞こえてきました。「よし!人に頼るのはやめよう!自分でやろう!!」と。私は大決意をしました。早速近所の宅を訪問し一軒一軒感謝と真心で植木の剪定をやってゆきました。

それから20年がたち、平成8年3月、定年前に円満退社し、独立自営で植木屋として第2の人生を歩み、この好きな道を継続してきたお蔭で現在85件の固定客に恵まれ繁栄を続けております。これからもお客様に喜んでいただけるよう、天地一切のものに、人に、ことに感謝して生涯現役で働いてゆこうと、喜びで胸が一杯です。

これまで本当に多くの人々にお世話になりました。ありがとうございました。感謝。

同窓生のお店紹介—その1

62回・三浦愛三さんのお店

一龍屋台村
月島&食ing劇場

本年度の新人歓迎会6/12(金)の会場となっています。(7ページ参照)

■営業時間PM5:00~AM0:00(年中無休)

東京都中央区月島4-13-11

TEL.03-3531-1166

★地下鉄有楽町線月島駅より歩いて4分

★地下鉄銀座線銀座駅よりタクシーで2メートル

夜ごとお祭り気分です

平成6年「笑う門には福きたる」のキャッチフレーズのもとオープンした一龍屋台村月島は食ing劇場なるステージを備えたユニークな店。ライブショーを楽しみながら食べたり飲んだり、いやが上にも盛り上がるうれしいアミューズメントスペースです。ステージのプログラムは一龍のオリジナル企画による歌謡ショーやコントなど、時には大マジックが不思議の世界へご案内。もちろん料理は一龍自慢

の手作りが200種以上。気っぷのいい板さんが握るすしから季節料理、浜焼き、やきとり、下町月島名物もんじゃ焼き、お好み焼き、本場中国からやってきた名人コックの中華料理にラーメンと、屋台の醍醐味がたっぷり味わえます。しかも料金は飲食代だけというリーズナブルなシステム。仲間同士のパーティーはもとより、ビジネス相手の接待や結婚式の二次会にも最適です。



歩いて健康

上田 久則 (74回)

私は柔道整復師。所謂“ほねつき”
“接骨院”を自営。

事務局より「健康」についての原稿
を依頼されたが、私の前職や生活振りを
ご存知の諸兄に、説教がましい養生訓
を説いたところで誰も耳を貸してくれそ
うもないので、私がこの5年間励行して
おり、患者さん全員に指導している「40分
間連続歩行」について少々。(図表参照)

二足直立歩行をするようになったから
腰痛は人間の宿命となったのか。そうと
ばかりは言えない様な気がする。最近の
青少年の腰痛の増加や脊柱側湾症、喘
息、易骨折、基礎体力の低下などは、明
らかに歩行量の減少によるものと言えそ
うだ。諸説あるけれども、40万～200万
年かけて作り上げた二足直立を支える
下半身の機能を使わなくなって30～40
年。ヒトという動物が肉体を捨てようと
している。この脆弱になった身体で、大
都会の劣悪な環境に生息するのだから大
変なことだろう。

骨は身体に垂直な圧力を受けた時に
発達する。カルシウム不足を指摘される
骨粗鬆症も歩かねば、摂取過剰のカルシ
ウムは結石等の原因になるのがオチ。ち
なみに1970年と90年の宇都宮の調査。6
歳児の1日の歩数は、それぞれ18,000歩
と12,000歩。それにしても歩きやすい道、
楽しい道が東京には少ない。新潟はも
っと酷いけれども。

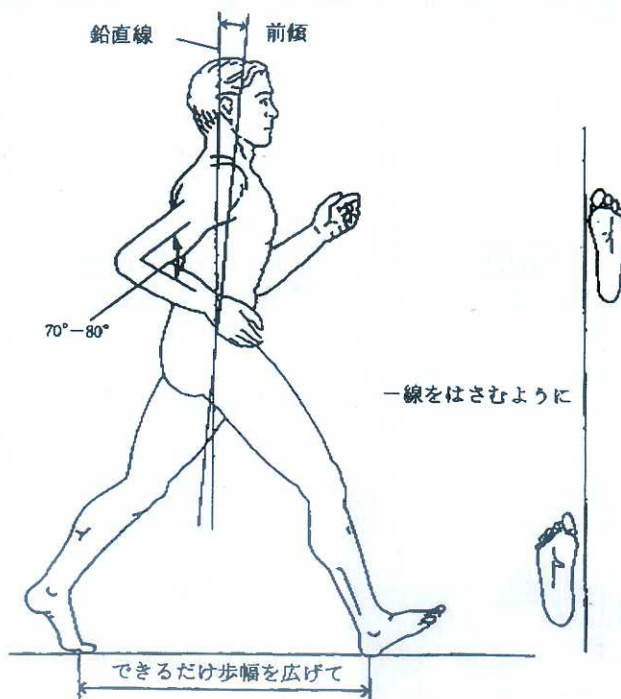
覚醒剤止めますか、人間やめますか。
歩きますか、人間やめますか。

■連絡先/茜整骨院TEL. 03-5379-5505

運動療法〔歩行と生理機能〕(日本構造医学研究所資料による)

1) 呼吸循環器系	やや速歩、成人40分あたり3.5km程度 にて増大(修復)	時速5.3km/h、1分間に90mくらい
2) 運動支持機能	速歩、成人40分あたり4～4.5km程度で 筋力、骨強度、関節潤滑性が高まる (気力の充実、活力の充実)(第2生理歩行)	時速6.8km/h、1分間に110mくらい
3) 消化器系機能	穏やかな歩調、40分あたり2.5km程度 で非常に後進し、自律神経機能が安定化 (精神安定効果)(第1生理歩行)	時速3.8km/h、1分間に63mくらい
4) 泌尿器系	正常歩行、成人40分あたり3.2km程度	時速4.8km/h、1分間に80mくらい

※ここで適運動時間を40分としたのは歩行時間が30分を越えない場合は、この上記の効果が
ほとんど見られず、40分を越えると易疲労性を訴えることが急激に多くなるためである。
※これは、身長175cmを基準としており身長10cmあたり7.2%速度を増減に計算する。



あなたの歩行は () 番
1分間の距離は () m/分

同窓生のお店紹介—その2

81回・佐藤浩秋さんのお店

Jazz & 地酒 in “F”

■営業時間

12:00～18:00 (お茶タイム)

18:00～25:00 (お酒タイム)

■ライブタイム (2ステージ)

土曜 20:00～22:00

日曜 18:00～20:00

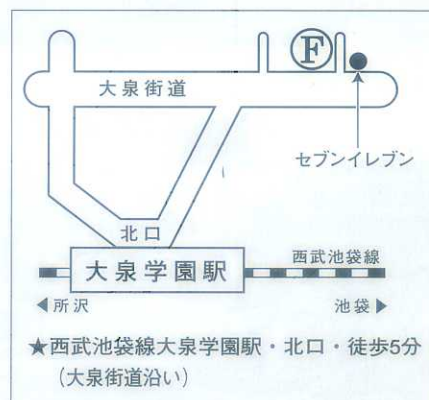
東京都練馬区東大泉3-4-19 津田ビル3F

TEL. & FAX. 03-3925-6967

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/in-f/>

“F”

この4月にリニューアル
オープンしました。昼
(お茶タイム)の選曲は
クラシック中心に、夜(お酒
タイム)の選曲はジャズ中心に、地
酒、おでん、家庭料理というコン
セプトで営業いたします。ライブも週2
回のペース(土、日)で、より一層
創造的なステージを展開していき
たいと思っています。皆さんのお越
しをお待ちしております。



寄稿

上海転勤にて候

星野 郁夫 (84回)

たった2ヶ月のつきあいで、こんなに感傷的な別れができるものだろうか？

上海→成田、JAL792便の28A席は主翼の真上であった。虹橋(ホンチャオ/Hong Qiao)国際空港を飛び立ち、左に大きく旋回した機体の窓から、虹橋特別開発区に立ち並ぶ高層ビル、程近くに連なる古北(グウベイ/Gu Bei)新区の高層マンション群が見える。挨拶回りマンション探しで、この辺の街並みは正確にインプット済みだ。新区からダウタウン、外灘(ワイタン/Wai Tan)を見晴らし、黄浦江(ホアンプジャン/Huang Pu Jiang(川です))を渡った先は、今をときめく、浦東(プートン/Pu Dong)新区。40階を超える双子「森ビル」は片割れが竣工。この5月1日に移り住む日本企業も多い。清水建設が1社で請負うという98階建てのビルは基礎土木工事中。中国中央政府肝いりの浦東は、アジアに金融センターになり得るか？はっと気が

つき町全体を見渡すと、上海上空の灰色のかすみはスモッグか、はたまた黄砂か？まるで雲の中の空中都市のよう。今後推し進めるべきの一つは環境ビジネスだろう。

上海のハードウェア(道路・ビルなどのインフラ)は、私がここ2~3年通ったソウル、台北とほぼ同じ印象だった。それほど整備されているかに見える。売っている物も豊富。ただし、当たり前だが、人間が違う。それが個々の物の質となって現れる。在住外国人の多くが辛辣に指摘することだが、中国人のメンタリティは、ともすると大変な「困ったちゃん」。特に日本人の期待通りには、まずやってくれない。気は抜けない。「他山の石」とは、確か中国の故事だが、上海の雑踏の中では「人の振り見て我が振り直す」は皆無で、「人の有利見るや、われもわれも」が主流。そのかし、変にあきらめがいい。つめが極端に甘い。「上海人(OR中国人)は面子にこだわる」と聞いていたけれど、日本人の「恥」的観念とはまったく別。中国語も始めたばかりだが、「おまえの行為は上海人の恥だ」などと言っても、基本概念が伝わらないかもしれない。(要は人種が違うのですね)

こんな風で、二言目に口を衝くのは呆れ果てたとの言辞ばかりなのに、なぜか魅力的な街である。機上から観たあの眺めにあんなにも考えさせられたのも、歴史的降雨量の合間の快晴と、満員の機内で無理にあてがわれた、(たまたま絶妙な位置の)窓側の席のせいばかりではないような気がする。魔都はいまだに、どこかで生き永らえているのだろうか？

寄稿

新しい生活を始める皆さんへ

古泉 聡洋 (H.7年卒業)

この4月から東京で新たな生活を始めようとされている皆さん、それぞれへの進路へのご進学おめでとうございます。これからは多くを自分で判断し、責任を持たなくてはなりません。東京での一人暮らしは皆さんに、否が応でも大人になることを要求します。そのことをよく自覚してもらいたいと思います。

しかし、それと同時にこれからは自由な時間が多くなる時でもあります。そして新しい環境、新しい友人達、と様々な刺激にあふれています。その中でどう過ごすかは皆さん一人一人にかかっているわけなのです。僕は初めの1年半くらいはサークル活動に明け暮れた毎日を送っていました。学校以外、勉強以外での人のつながりは貴重です。皆さんにも色々な事に挑戦してもらいたいと思います。

その一方で社会の情勢にも目を向けて欲しいと思います。ご存じの通り、4月1日から本格的に金融ビッグバンが始まりました。規制が緩和されて消費者が便利になる一方で、どの企業が倒産してもおかしくない時代になってきました。また、いわゆる“いい大学”に入れば一生安心、と言うこともなくなりました。個々の能力、業績で給料が決まる時代が来るのも時間の問題でしょう。

このような変化の真っ直中に出て行くみなさんには不安が多いとは思いますが、迷った時には先輩にアドバイスを受けてください。新潟高校出身の立派なOB、OGの方々は各分野に沢山いらっしゃいます。実社会に出て働いておられる方の話を聞く機会は貴重なので、積極的に同窓会に顔を出すときっと役に立つと思います。

今、みなさんは夢や希望に満ちあふれていることでしょう。いつまでも今の気持ちを忘れずに、健康に気をつけて頑張ってください。



新人歓迎会 講演会

講師紹介



佐藤 幸治
京都大学教授
(64回)

■略歴

昭和

12年6月9日 新潟県西蒲原郡月潟村に生まれる

31年 3月 新潟高等学校卒業

36年 3月 京都大学法学部卒業

4月 (株)住友銀行入社

37年 6月 京都大学法学部助手

39年 8月 京都大学法学部助教授

42～44年 ハーヴァード・ロー・スクール

50年 2月 京都大学法学部教授

平成

3～5年 京都大学法学部長

7～8年 京都大学総長特別補佐

■社会活動として

行政改革委員会専門委員(情報公開部会)、中央銀行研究委員会、行政改革会議委員、宗教法人審議会委員、大阪府情報公開審査委員会、大阪府個人情報保護審議会委員、京都府個人情報保護審議会委員 等々

■主な著書

憲法訴訟と司法権 (S59年・日本評論社)

現代国家と司法権 (S63年・有斐閣)

憲法(第3版) (S7年・青林書院)

ちょっと一言

夜明け前 八木 健(75回)



某月某日、東京青山同窓会佐藤邦雄事務局長から電話が入る。

昨今、経済も社会も暗い話ばかりなの

で、皆が元気になるような話を会報に載せたいので某日までに原稿を送るよという話し。同期のクニちゃんの命令であればと安請け合いしたのは良いが、やっぱり毎日暗いニュースばかり。

色々出る経済指標、企業家心理を示す日銀短観等々、仲々元気は出てこない。政治家の方々が補正予算の話再三再四にわたって言及しても株価は仲々上がらない。しかし、これまで良く云われてきたことではあるが、日の出直前が一番暗くなると云う。景気についても然り。

近い将来における景気の回復を確信しつつ、悪い話が出尽くすのを待とうではありませんか。

平成10年度 東京青山同窓会
新人歓迎会のお知らせ

【日時】

平成10年6月12日(金)

p.m. 6:00 受付開始

p.m. 6:30 開始

【講演会】

講演テーマ

「行政改革と日本の将来」

佐藤幸治 京都大学教授(64回)

【新人歓迎会】

同窓生のお店「一龍屋台村」で小宴

【会費】

一般・8000円

女性・5000円

大学生・3000円

新人・2000円

【会場】

一龍屋台村(月島店)

中央区月島4-13-11

TEL. 03-3531-1166

月島店

Tel. 03-3531-1166
東京都中央区月島4-13-11★地下鉄有楽町線月島駅より
歩いて4分

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを実費にてお届けいたします。

ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、右記の費用(切手にて)を同封の上、事務局までお送り下さい。

- 住所リスト
1学年/1500円分の切手
- 宛名ラベル
1学年/2000円分の切手

同窓会年会費
自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらない「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の総会の受付までお申し出下さいませ。



郵便局に出かける手間が
省けます

振替手数料が
無料になります

IDカードとして
お持ちください

平成9年度・会費納入者一覧

H9.10.1～H10.4.30現在まで

36回 (5名)	梶山 勝清	大塚 久雄	三崎 正一	高橋 進	川井 文夫	佐々木 邦夫	大石 憲一	玉木 友二
植木 正平	梶原 計佐	倉茂 周明	宗村 禎三	徳田 浩一	川口 徹	高橋 三郎	大沢 ミチ子	中村 吉郎
斎藤 英四郎	工藤 弘安	斉藤 健一	村松 茂樹	富山 和夫	川崎 明	高橋 信夫	大滝 均	原 永庫
関 昇	佐藤 博	塩谷 政実	山口 和郎	野村 保夫	木山 清	皆川 学	加門 文隆	81回 (11名)
関根 達夫	滝沢 信義	千葉 繁治	山城 敦成	長谷川 信夫	森野 光雄	68回 (19名)	菊池 隆	荒川 秀樹
八木 博	仁保 武人	中村 幹男	山田 幸輝	早武 正博	斉木 幸彦	阿部 美和子	黒木 幹雄	荒川 洋
37回 (1名)	渡部 松生	星 健	山田 陸男	廣瀬 欽次郎	坂井 俊一	五十嵐 昭	佐藤 正也	五十嵐 寛
馬場 幸一郎	50回 (16名)	56回 (64名)	渡辺 友也	宮田 庄之助	坂井 敬	上村 嶺子	高橋 保	尾山 尚
38回 (4名)	池田 成徳	赤坂 長弥	58回 (19名)	山崎 良一	佐藤 茂司	亀沢 範正	西田 百合子	近藤 敦
大沼 正一	岩澤 信夫	朝比奈 和三	飯塚 利雄	山本 淳夫	佐藤 善一	川崎 肇	横川 三男	白井 秀樹
河内 直治	枝村 道平	荒井 宏	池田 成義	61回 (19名)	椎名 睦郎	草野 佐	渡辺 義和	広井 恵子
丸山 岩三	小黒 晴夫	飯島 昌弥	片桐 啓三	赤堀 和郎	嶋岡 洵	近藤 和久	75回 (22名)	広島 勉
山田 重平	佐藤 剛一	石田 智	佐藤 明夫	朝日 明	清水 良男	斉藤 正果	伊藤 公	堀川 良史
39回 (2名)	瀬谷 誠	石田 恒良	佐藤 悟	安宅 久憲	菅原 武	重野 康人	大越 公平	宮田 収
杉崎 晋	高橋 修	市川 千尋	高橋 三男	伊藤 英子	須田 嶺治	進藤 喜代子	大塚 恵子	横山 薫
村田 篤	塚野 俊彦	伊藤 昶	田中 俊男	猪間 驥太郎	早福 昭介	滝沢 猛	大野 敏雄	82回 (5名)
40回 (2名)	敦賀 博	井上 菊雄	永井 克孝	木村 政雄	高橋 正幸	田辺 紀子	小畑 修二	金子 裕一
会田 俊雄	時田 勇司	指宿 毅	横崎 義夫	小池 弘	高見 浩	寺尾 正大	折笠 清介	清田 基
高田 信川	西村 明忠	今井 忠平	藤谷 秀雄	小嶋 哲夫	田巻 亮	根岸 常美	笠井 忠	日下部 朋子
41回 (2名)	藤井 義良	逢坂 七郎	福田 満	小林 元雄	津野 慶浩	古館 信生	木戸 守	小亦 斉
阿部 久二	松原 明	大野 利夫	細貝 実	杉山 由人	中谷 光隆	増子 藤男	佐藤 邦雄	西山 活子
布施 栄信	村山 一	小河 喜和	堀内 俊夫	田中 忠夫	中山 典彦	松橋 英夫	曾我 正男	83回 (4名)
42回 (5名)	諸橋 謙一	鹿児島 昌雄	松井 慎平	鶴巻 正義	早川 周作	渡辺 公夫	高木 久夫	遠藤 光郎
相沢 康平	山田 英世	加藤 勝則	宗村 泰四郎	中村 正春	星 満	渡辺 泰彦	高橋 正	河野 一郎
塩谷 正雄	51回 (13名)	川崎 尚一	村山 保	長沼 雄峰	三國 六朗	69回 (7名)	玉木 廣	山口 虎彦
高橋 二郎	浅見 信夫	川田 幸雄	望月 和明	長橋 徳衛	山根 伸之	青木 利祐	野崎 茂	横山 修
田中 正吾	池田 誠五	木村 直平	本永 祐嗣	藤田 吉次	和田 弘治	岡田 尚子	橋爪 博美	84回 (6名)
丸山 平次	上野 仁	久慈 正彦	山谷 皓栄	村山 健	阿部 正男	佐藤 孝靖	萬歳 信行	朝倉 仁樹
43回 (5名)	笠井 謙	久保田 剛敏	59回 (26名)	谷田部 信	安藤 宜清	清水 一男	樋口 秀夫	大須賀 郷子
市橋 敏雄	梶井 功	幸田 慶治	牛木 素吉郎	62回 (21名)	飯村 厚	服部 千尋	藤縄 利勝	島津 孝
小沢 省三	河路 渡	小嶋 秩夫	園城 英二	安食 恒昭	五十嵐 徹	松尾 健司	村山 博	田中 昌夫
田中 一郎	北村 茂	小島 直孝	遠藤 欽蔵	石本 悦夫	宇佐美 快昭	山田 建男	山崎 信行	星野 郁夫
本間 武	木下 進	小松 重男	大島 洋一	内山 隆之	河路 明夫	70回 (7名)	山根 英郎	星野 紹英
本山 信城	鈴切 康雄	近藤 源也	奥村 繁樹	大高 康夫	小林 英輔	石井 堅一	若佐 則雄	85回 (7名)
44回 (7名)	田中 芳彦	斉川 和平	小村 幸久	小黒 昌一	佐藤 貞夫	太田 昭二	安倍 孝久	雨木 若慶
金子 一夫	千葉 繁太	佐藤 幸喜	金巻 久	金井 正雄	佐藤 武行	鈴木 正俊	小田 高久	石津 亘
倉 耕一	真壁 三男	真田 八束	櫛谷 全一	新保 利博	柴沢 大五郎	田辺 豊	久住 治	大塚 聡
小山 得二郎	丸山 幹男	残熊 謙一	栗林 貞一	鈴木 勉	渋谷 皓	富岡 黎三郎	鈴木 隆雄	奥村 基
斎藤 伸雄	52回 (11名)	塩見 寛	小池 和男	高橋 健一	関 英一郎	花輪 治	田中 邦直	関 史枝
坂井 健一	阿部 穆	柴垣 寛	小城 一廣	高橋 聡	田代 良雄	若井 正嗣	太原 まゆみ	田中 研一
佐藤 敬雄	磯 康彦	白勢 陽一	茂泉 喜彦	田子 元	中野 哲之	五十嵐 勤	田村 俊作	86回 (2名)
前山 金一郎	大塚 幹雄	菅原 惇	洪木 幸三	田中 毅	本間 武彦	太田 裕	長北 学	角田 智子
45回 (3名)	北村 新平	鈴木 正身	下條 貞友	中野 義一	本間 忠彦	小飯塚 豊	林 誠	斎藤 健
金澤 武	栗原 一也	鈴木 正安	関野 光弘	中村 義一	山本 和親	佐藤 伸郎	松田 行雄	88回 (2名)
川村 明義	斎藤 泰五郎	鈴木 寧	高橋 正利	帆刈 宏典	66回 (17名)	菲澤 孝二	渡辺 拡	諸橋 博樹
野瀬 秀雄	坂井 保也	清野 誠二	高山 昇二郎	三浦 愛三	石山 芳春	72回 (10名)	77回 (5名)	山科 満
46回 (3名)	佐藤 昭三	高見 久義	田中 七郎	皆川 重	内田 定寛	金巻 裕史	片山 等	89回 (1名)
上杉 栄一	廣川 勲	建部 恒彦	長島 一郎	村上 年	熊谷 國男	熊谷 忠二	北村 一雄	佐藤 保
小熊 幸男	廣川 昭二	田代 九郎	西野 武	山崎 敬介	小山 素範	斉藤 俊正	小池 重直	90回 (1名)
山田 市男	村山 玄二郎	田巻 宏治	花井 進	山田 信一	佐々木 紀美子	佐藤 修	長谷川 実	木村 和人
47回 (5名)	53回 (11名)	照木 仁	藤原 幸雄	63回 (10名)	佐藤 文孝	島村 礼子	山田 民夫	91回 (2名)
木村 和郎	浅海 典	中川 彰	水沢 邦弘	阿部 達	塩谷 芳彦	菅又 滋	78回 (4名)	上野 伸二
倉田 四郎	石原 孝	中川 邦司	山崎 徳左衛門	五十嵐 信一郎	隅木 良雄	富田 由李	清田 潔	原田 圭子
小杉 吉二郎	岩原 昭	中島 顕	吉田 陽吾	石渡 利男	関本 一義	細谷 長貞	肥田 博子	93回 (1名)
斎藤 しょう太郎	近藤 圭二	中村 晃	渡邊 敏男	市川 瑞夫	二宮 靖彦	矢島 邦夫	水野 秀樹	古沢 朝子
畠山 元雄	佐藤 良策	中山 昭一	60回 (19名)	梶原 哲郎	野水 宏樹	横堀 弘	吉澤 哲彦	96回 (1名)
48回 (2名)	中島 常雄	永井 喜八郎	石田 章	白倉 至	林 武郎	73回 (3名)	79回 (3名)	鈴木 周
石本 三郎	中村 正彦	長岐 豊	市村 哲	高橋 良行	宮崎 一彦	石山 智	伊藤 毅	102回 (2名)
田中 利男	野田 栄次郎	成田 順治	内山 真一	中村 道衛	村上 紀光	成田 常也	小田 章治	池田 哲郎
49回 (12名)	林 博	西 義明	小川 秋実	山川 量	吉田 六左門	74回 (17名)	80回 (9名)	高橋 太郎
赤松 元敏	広野 究	伏見 康	金山 常吉	山田 益也	鷲頭 陽一	青海 潔	青木 隆次	103回 (1名)
阿部 東	渡辺 義隆	藤田 和夫	小出 直	64回 (30名)	67回 (8名)	石井 拓男	大関 潤	赤塚 健太郎
井上 正	54回 (1名)	堀 藤四郎	佐藤 孝	阿部 欣司	一柳 肇	石山 范	沖野 謙	105回 (2名)
内田 文雄	安達 信吾	増田 祐孝	鈴木 稔	植村 頼音	小野 勝義	和泉 潤	小野 秀子	設楽 夏代
小黒 義一	55回 (7名)	松井 昭五	高橋 明男	太田 健治	片桐 靖忠	板井 勉	川名 正敏	三好 冴子
				柄沢 茂	片山 忠一	上田 久則	清水 洋一	

以上539名

■年会費未納の方は、同封の振替用紙にてお振込下さい。(1口1000円、2口以上でお願いいたします。)